**鳥取県人権意識調査**

調査のお願い

日ごろから県政の推進にご協力いただき、ありがとうございます。

この調査は、県内にお住まいの16歳以上の方から無作為に選ばせていただいた3,000名の方々を対象に、人権問題に対する認識や考えをお伺いするものです。

なお、この調査は無記名で行っており、個人が特定されることはありませんので、あなたの率直なお気持ち、お考えをご記入ください。

また、お答えいただいた情報を調査目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【このアンケートをむことがしいかたへ】

ごなど、しいかたにんでもらっておえいただくか、せに、ごください。

**ご記入にあたってのお願い**

* 封筒のあて名の方、**ご本人**がお答えください。
* 質問に従って、当てはまる選択肢の**番号を○で囲んで**お答えください。また、選択肢の中の「その他」に○をされた方は（　　）の中に具体的内容を記入してください。
* 回答したくない部分がありましたら、お答えいただかなくても結構です。
* ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和２年７月１０日（金）まで**に投かんしてください。（切手は不要です。）
* この調査についてご不明な点などがありましたら、下記問合せ先にご連絡ください。

**［］**

・（〒680-8570　220）

　 ： 0857－26－7592　　　ﾌｧｸｼﾐﾘ ： 0857－26－8138

ﾒｰﾙ： jinken@pref.tottori.lg.jp



**令和２年５月**

**鳥　取　県**

調　査　の　目　的

鳥取県では、お互いの人権が尊重され、県民一人ひとりが誇りをもって生きることができる差別と偏見のない社会の実現を目指し、人権啓発や差別の解消に向けた取組を行っています。

この調査は、県民の人権に関する意識の現在の状況や過去の調査との変化などを調べ、鳥取県人権施策基本方針（※）や人権啓発活動などに活用することを目的としています。

（前回の調査結果をこのように活用しました。）

＜一例＞

○差別や人権侵害を受けたときに相談したい相手

|  |  |
| --- | --- |
| 家族や親戚 | 53.7％ |
| 友人、同僚 | 36.2％ |
| **国や県、市町村の人権相談窓口（電話相談やメール相談を含む）** | **26.4％** |

○相談先に求めるもの

|  |  |
| --- | --- |
| 親身になって話を聞き、共感してくれること | 35.9％ |
| **法律的な知識や経験に基づいたアドバイス** | **32.8％** |

この調査結果から、相談機能の充実を図りました。

　　・活用しやすい環境づくり　・関係機関の連携　・相談員の資質の向上、相談者本位の対応

　　・総合的な相談窓口による対応

※「鳥取県人権施策基本方針」とは、お互いの人権が尊重され、差別と偏見のない社会を目指して、平成８年に制定した「鳥取県人権尊重の社会づくり条例」第５条に基づいた人権施策の基本となるべき方針です。この基本方針は、県が人権に係る取組を行ううえで、基本的な考え方や方向性を県民の皆さんに示すものです。

**１　人権全般**

**問１　次のような考えについて、あなたはどう思われますか。次の（１）～（１４）のすべてについて、あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。（それぞれ１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
|  |  | | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | わからない |
| （１） | | 差別だ、差別だ、と騒ぎすぎる人が多い | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （２） | | 差別される人にも、それだけの理由がある | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （３） | | さまざまな人権問題が話題になるが、自分とは関係のないことだ | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （４） | | 子育て中の女性には、出張が必要となるような仕事を担当させるべきではない | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （５） | | 障がいのある人が困難を経験するのは、周りの環境や制度などが障がいのない人（多数派）に合わせて作られているからだ | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （６） | | 自宅近くに精神科病院が建設されることには反対する | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （７） | | 保護者が子どものしつけのために、叩いたり怒鳴ったりすることは、ある程度は仕方がない | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （８） | | 子どもの問題を家庭だけの責任にするのではなく、公的な支援も必要だ | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （９） | | 高齢者の人権や命が軽んじられたりする風潮に不満がある | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （10） | | 外国人が増えると治安が悪くなる | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （11） | | 日本で暮らす外国人が、母国の言葉や文化を大切にすることを尊重すべきだ | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （12） | | ハンセン病元患者に対して、宿泊施設、店舗等への入店や利用を拒否することがあってはならない | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （13） | | インターネット上の掲示板などに他人の個人情報や悪口を書き込むと人権を侵害する | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （14） | | 性的マイノリティ（※）が社会的話題になっているが、自分の周りにはいないと思う | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |

※　性的マイノリティとは、「からだの性とこころの性が一致しており、異性を好きになるタイプ」にあてはまらない人たちのことです。

**問２　過去５年間の日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと思ったことがありますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．よくある  次の①、②にもお答えください |
| ２．たまにある |
| ３．ほとんどない |
| ４．まったくない　　　　　　問３へお進みください |
| ５．わからない |

**①　それはどのようなことですか。（○はいくつでも）**

１．差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等による不平等・不利益な取扱い）

２．プライバシーの侵害

３．インターネット上の掲示板等への不適切な書き込み

４．地域などでの嫌がらせやいじめ

５．学校での嫌がらせやいじめ

６．学校での体罰

７．職場での嫌がらせやいじめ（パワーハラスメントを含む）

８．家庭内での暴力や虐待

９．他人や団体からの暴力、脅迫、強要

10．セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）

11．ドメスティック・バイオレンス

（ＤＶ：配偶者や恋人などからの身体的・精神的・性的な暴力）

12．性暴力

13．ストーカー行為

14．公務員（国・自治体等の職員、警察官、教員等）による不当な扱い

15．答えたくない

16．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**②　そのことについて、誰かに相談しましたか。（○はいくつでも）**

|  |
| --- |
| １．友人、知人 |
| ２．家族や親戚 |
| ３．職場の上司や事業主 |
| ４．職場の人権担当相談員 |
| ５．学校など（幼稚園、保育園を含む）の教職員等 |
| ６．民生委員・児童委員など地域の人 |
| ７．弁護士などの専門家 |
| ８．国や県、市町村の人権相談窓口（電話相談やメール相談を含む） |
| ９．８以外の相談機関（法テラス、ＮＰＯ等） |
| 10．インターネット上の友人、知人 |
| 11．自分で処理（解決）した |
| 12．何もしなかった |
| 13．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問３　過去５年間の日常生活の中で、あなた自身が他人に対して差別や人権侵害を行ったことがあると思いますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．ある |
| ２．あるかもしれない |
| ３．ないと思う |
| ４．ない |
| ５．わからない |

**問４　今現在、普段の生活場面における人間関係の中で、あなたは平等に扱われている（差別されたり、特別扱いされていない）と思いますか。次の（１）～（３）のすべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
|  | |  | 扱われている | どちらかといえば  扱われていると思う | どちらかといえば  扱われていないと  思う | 扱われていない | 現在かかわりがない |
| （１） | 家庭において | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （２） | 地域において | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （３） | 学校または職場において | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |

**問５　あなたの家族や知人で障がいがあることなどの理由で、優生思想（※）による強制的な不妊手術を受けた人がいますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．いる |
| ２．いない |

　※　優生思想とは、身体的・精神的に優秀な能力を有する者の遺伝子を保護し、逆にこれらの能力に劣っている者の遺伝子を排除して、優秀な人類を後世に残そうという思想です。

**問６　あなたは、「あいサポート運動（※）」について知っていますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．自分自身が「あいサポーター」だ |
| ２．内容を知っている |
| ３．言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない |
| ４．言葉を聞いたこともないし、内容も知らない |

※　あいサポート運動とは、様々な障がいの特性を理解して温かく接するとともに、障がいのある人が困っているときには「ちょっとした手助け」を行って、誰もが安心して生き生きと暮らしていくことができる地域社会を目指す取組で、平成２１年に鳥取県でスタートしました。

**問７　あなたは、「ユニバーサルデザイン（※）」について知っていますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．内容を知っている |
| ２．言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない |
| ３．言葉を聞いたこともないし、内容も知らない |

　※　ユニバーサルデザインとは、障がいの有無、年齢、言語などと関係なく、誰でも利用しやすいように製品、建物、環境などをデザインすることです。

**問８　あなたは実際に、障がいのある人や高齢者、妊娠している人などの手助けをした経験がありますか。次の（１）～（６）のすべてについてお答えください。（１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | １ | ２ | ３ | ４ |
|  | |  | 実際に手助けした | 手助けしたかったが方法がわからなかった | 手助けしなかった | 困っている人を見かけていない |
| （１） | 手話や筆談によるコミュニケーション | | １ | ２ | ３ | ４ |
| （２） | 目の不自由な方の誘導 | | １ | ２ | ３ | ４ |
| （３） | ゆっくり、分かりやすい表現を使って説明をするなどの意思疎通の配慮 | | １ | ２ | ３ | ４ |
| （４） | 車いす利用者の補助（段差、上り坂など） | | １ | ２ | ３ | ４ |
| （５） | 多目的トイレやエレベーターの場所の案内 | | １ | ２ | ３ | ４ |
| （６） | バスなどの公共交通機関や待合室などで席を譲る | | １ | ２ | ３ | ４ |

２　同和問題（部落差別）

**問９　あなたが同和問題（部落差別）について、はじめて知ったのは、どういうことがきっかけですか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．父母や家族から聞いた |
| ２．近所の人から聞いた |
| ３．学校の友達から聞いた |
| ４．学校の授業で教わった |
| ５．職場の人から聞いた |
| ６．講演会、研修会などで聞いた　　　　　　　　　問１０へお進みください |
| ７．県や市町村の広報誌などで読んだ |
| ８．テレビ、新聞、書籍などで知った |
| ９．インターネットのサイトなどで知った |
| 10．近くに同和地区（被差別部落）があった |
| 11．その他（　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
| 12．同和問題（部落差別）については、知らない　→　問１７へお進みください |

**問１０から問１６までは、同和問題（部落差別）を知っている場合のみ、お答えください**

**問１０　あなたと、同和地区（被差別部落）やその住民の方との関わりについてお答えください。（○はいくつでも）**

|  |
| --- |
| １．同和地区（被差別部落）やその近くに住んでいたことがある |
| ２．同和地区（被差別部落）に友人、知人がいる |
| ３．同和地区（被差別部落）内の施設を利用したことがある |
| ４．まつりなど、同和地区（被差別部落）の人との交流事業やイベントに参加したことがある |
| ５．課題解決に向けて、同和地区（被差別部落）の人と協働して取り組んだことがある |
| ６．同和地区（被差別部落）の人との関わりは特にない |
| ７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問１１　あなたは、同和問題(部落差別)について、どの程度知っていますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．同和地区（被差別部落）の起源や歴史、同和問題（部落差別）の現実（就職・結婚差別、差別発言・落書き、インターネット上の書き込み等）について、ある程度知っている |
| ２．同和地区（被差別部落）の起源や歴史、同和問題（部落差別）の現実について少し知っている |
| ３．同和問題（部落差別）が存在していることは知っている |
| ４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問１２　あなたは、過去５年間で同和地区（被差別部落）の人々に対する差別的な発言や行動を直接見聞きしたことはありますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．見聞きしたことがある　→　次の①、②にもお答えください |
| ２．見聞きしたことがない　→　問１３へお進みください |

**①　見聞きした差別的な発言や行動は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）**

|  |
| --- |
| １．地域や職場、学校、家庭内などでの差別的な言動 |
| ２．差別的な落書きや投書 |
| ３．インターネット上での差別的な表現等 |
| ４．雑誌等での差別的な記事 |
| ５．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**②　その時、あなたはどうしましたか。（○はいくつでも）**

|  |
| --- |
| １．差別に気づき、間違っていることを説明した |
| ２．差別に気づき、間違いを説明したかったが、できなかった |
| ３．差別に気づいたが、どうしたらよいのかわからなかったため、何もできなかった |
| ４．差別に気づいたが、当人の問題であると思い、そのままにした |
| ５．その時は差別と意識せず、見過ごした |
| ６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問１３　相手が同和地区（被差別部落）出身者であることを理由に結婚に反対することについて、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．反対することなど考えられない |
| ２．反対したい気持ちがあっても反対してはいけない |
| ３．反対してもかまわない |
| ４．絶対に反対すべきだ |
| ５．わからない |

**問１４　あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、物件が同和地区（被差別部落）にあった場合、どうすると思いますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．物件が同和地区（被差別部落）にあるという理由で、避けることはない |
| ２．物件が同和地区（被差別部落）にあったら、避ける |
| ３．わからない |

**問１５　あなたまたは家族の結婚や就職に際して、身元調査（※）をすることについてどう思いますか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．相手のことを知るために、身元調査は必要だ |
| ２．場合によっては、身元調査をせざるを得ないこともある |
| ３．身元調査はしなくてもよい |
| ４．身元調査は絶対にしてはならない |
| ５．わからない |

　※　身元調査とは、対象者の身元（出生、家庭環境など）を調べることで、身元調査により対象者が不当に差別的な扱いを受けることもあります。

**問１６　同和問題（部落差別）について、日ごろ感じていることがあれば、自由にお書きください。**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

**３　教育・啓発**

**問１７　あなたは、過去５年間に人権に関する講演会や研修会、地域の学習会等に何回参加しましたか。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．１０回以上 |
| ２．５～９回　　　　　　　　　　　　　　次の①、②にもお答えください |
| ３．１～４回 |
| ４．参加したことがない　　　　→　　　　次の③にもお答えください |

1. **参加した講演会や研修会等は次のうちどれですか。（○はいくつでも）**

１．学校（幼稚園、保育園を含む）が開催するもの

２．職場が開催するもの

３．行政（国、県、市町村）、公的機関（地域の公民館や人権教育推進協議会も含む）が開催するもの

４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**②　参加したきっかけは次のうちどれですか。主なものをお選びください。（１つに○）**

１．人権について学ぶ必要があると思った

２．職場や地域のかたに参加するようにすすめられた、さそわれた

３．参加しないといけなかった

４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**③については、参加したことがない場合のみ、お答えください**

**③　講演会や研修会等に参加しなかった理由を、次の中からもっとも近いものをお選びください。（１つに○）**

１．人権問題のことはすでによく知っていたので参加するまでもなかった

２．参加したかったが、忙しくて都合がつかなかった

３．講演会や研修会等が行われていることを知らなかった

４．人権問題には関心がなかった

**問１８　県や市町村、教育機関等では、講演会や研修会等以外でも人権問題の啓発を行っています。そのうち、あなたが、過去５年間に、人権問題を理解するのに役立ったものはどれですか。（○はいくつでも）**

|  |
| --- |
| １．広報誌 |
| ２．冊子・パンフレット |
| ３．新聞 |
| ４．掲示物（ポスター等） |
| ５．テレビ・ラジオ　　　　　　　　　 問１９へお進みください |
| ６．地域情報誌・タウン誌 |
| ７．映画・ＤＶＤ |
| ８．インターネット |
| ９．街頭啓発 |
| 10．１～９のどれもない　　　　　　→　次の①にもお答えください |

**①　その理由をお聞かせください。（１つに○）**

|  |
| --- |
| １．難しくてよくわからない |
| ２．自分の日常生活にあまり関係がない |
| ３．忙しくて、読んだり聞いたりする時間がない |
| ４．内容が自分の考え方と異なっている |
| ５．もう十分に理解しているので必要がない |
| ６．関心がない |
| ７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問１９　あなたは、人権教育・人権啓発に関して、どのようなお考えをお持ちですか。次の（１）～（８）のすべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
|  | |  | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらかといえばそう思わない | そう思わない | わからない |
| （１） | 差別や偏見に基づく情報に惑わされないためにも、様々な人権問題について学習しておく必要がある | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （２） | 家庭では、親自身が偏見を持たず、差別をしない、許さないということを、子どもたちに示す必要がある | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （３） | 多様な人々と直接的な関わりを持ち、相手のことを理解する必要がある | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （４） | ＮＰＯ等の民間団体による人権尊重に向けた取組を行政が支援する必要がある | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （５） | 職場で人権意識を高めるための啓発活動などを積極的に推進する必要がある | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （６） | 人権侵害を行った人などに対する法的な規制や人権が侵害された人の救済・支援を充実するための法整備を促進する必要がある | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （７） | 世界人権宣言や日本国憲法で保障されている基本的人権の正しい理解が必要である | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （８） | 人権は十分に尊重されており、新たな取組は必要ない | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |

**問２０　あなたは次のような行動をとることができますか。次の（１）～（７）のすべてについてお答えください。（それぞれ１つに○）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
|  | |  | できる | どちらかといえばできる | どちらかといえばできない | できない | わからない |
| （１） | セクハラの場面に居合わせたとき、やめるように注意することができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （２） | 子どものいじめ、体罰、虐待などに気づいたとき、関係機関に通報することができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （３） | 災害時に、地域の高齢者や障がいのある人の避難についても気を配ることができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （４） | 地域で暮らす外国人と積極的にコミュニケーションをとったり、お互いの文化を理解し合う努力をすることができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （５） | 近所に刑を終えて出所した人がいたとき、地域の仲間として迎えることができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （６） | インターネットの掲示板などで差別書き込みを見つけたとき、関係機関に通報することができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |
| （７） | 身近な人から性的マイノリティであると告白（カミングアウト）を受けたとき、共感したり、支援する意思を伝えることができる | | １ | ２ | ３ | ４ | ５ |

**４　自由記述**

**人権に関する困りごと、日ごろ感じていること、また、行政に対する御意見、御要望があれば、自由にお書きください。**

**（キーワード：人権教育・啓発、性別、障がい、子ども、高齢者、外国人、病気、刑を終えて出所、犯罪被害者等、性的マイノリティ、生活困難者、被災者、アイヌ、ひきこもり　など）**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

**最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて、差し支えのない範囲でお答えください。回答したくない部分がありましたら、お答えいただかなくても結構です。**

**１　あなたの性別は**

|  |
| --- |
| １．男性　　　　２．女性　　　　３．その他　　　　４．答えたくない |

**２　あなたの年齢は**

|  |
| --- |
| １．16～19歳　　　　２．20～29歳　　　　３．30～39歳　　　　４．40～49歳 |
| ５．50～59歳　　　　６．60～69歳　　　　７．70～79歳　　　　８．80歳～ |

**３　あなたの家族構成は**

|  |
| --- |
| １．単身　　　　　２．夫婦のみ　　　　　３．二世代家族（回答者と子世代） |
| ４．二世代家族（回答者と親世代）　　　　５．三世代家族（親子孫家庭）　　　　６．その他 |

**４　あなたの職業等は**

|  |
| --- |
| １．農林漁業者（家族従業者も含む） |
| ２．企業や団体の役員・自営業者（家族従業者も含む） |
| ３．企業や団体に勤める人 |
| ４．学校の教職員（幼稚園、保育園を含む） |
| ５．医療・保健・福祉関係者（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・介護福祉士等） |
| ６．公務員（学校、医療・保健、福祉関係者以外） |
| ７．その他の専門職・自由業（弁護士・税理士・公認会計士・宗教家・芸術家等） |
| ８．主として家事に従事 |
| ９．アルバイト・パート |
| 10．学生 |
| 11．無職 |
| 12．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**５　あなたがお住まいの市町村は**

１.鳥取市　　２.米子市　　３.倉吉市　　４.境港市　　５.岩美町　　６.若桜町　　７.智頭町　　８.八頭町　　９.三朝町　　10.湯梨浜町　 11.琴浦町　　12.北栄町　　13.日吉津村　14.大山町

15.南部町　　16.伯耆町　　17.日南町　　 18.日野町　　19.江府町

～ 質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。～

この調査票を返信用封筒に入れて、**令和２年７月１０日まで**に投かんしてください。

切手は不要です。